

◇ 標準塗装仕様書 ◇

ボンフロン株式会社

◇工法名	BF-A103/ボンフロン水性クリヤーコート工法(劣化度「小」)		
◇適用素地	既存塗膜 ボンフロン水性AC塗膜、ボンフロンACドライ塗膜(劣化度小の場合)		
◇使用材料	中塗	ボンフロン水性ACミドルコート	15.0 kg / 缶
	上塗	ボンフロン水性SRラストコートⅡ	13.0 kg / 缶

工程	使用材料	希釈率 (%)	標準所要量 ^{注1} (kg / m ²)	塗回数	塗装間隔 (23°C)	施工方法	
素地調整	躯体補修 既塗膜の活膜は残す、高圧水洗浄、サンドペーパーを用いて表面の目粗し ※事前調査については別紙を参照ください。 ※塗装前の素地調整方法は別紙を参照下さい。						
1	中塗	ボンフロン水性ACミドルコート	既調合	0.10 ~ 0.12 0.12 ~ 0.16	1	4h以上	刷毛・ローラー エアレス
2	上塗	ボンフロン水性SRラストコートⅡ	既調合	0.06 ~ 0.08 0.08 ~ 0.11	1	—	刷毛・ローラー エアレス
合 計					2		

注1) 標準所要量については、『塗装材料(希釈する前)の理論塗付量(kg/m²) × 100 / 塗着効率(%)』で算出しております。所要量は被塗物の形状や希釈等の塗装条件などによって増減することがありますのでご注意ください。各種施工方法の塗着効率を下記に示します。

施工方法	塗着効率(%)
刷毛・ローラー	80~100
エアレス	60~80
各種吹付けガン	50~70

エアレス圧力(参考)5~10Mpa・50~100kg/cm²

注2) 施工前に必ず事前調査(別紙参照)を行って下さい。

注3) 内外部で施工可能ですが、内部施工の場合は局所排気などの手段を講じて十分に換気を行ってください。

注4) 本工法は外壁等の垂直面への施工には問題ありませんが、天端等の水平面は環境が厳しく垂直面に比べ早く劣化します。

注5) シーリングについてはなるべく先打ちをお願いします。

後打ちにする場合、養生テープで塗装面が剥離する危険があるためなるべく接着力の弱いテープでの養生をお願いします。

注6) 気温や湿度等にも拠りますが塗膜が完全乾燥するまでに2~3週間掛かります。

塗膜が完全乾燥するまでは雨水等により水シミが発生する可能性があります。

仕様書に記載の塗布量を厳守して頂き、塗膜が完全乾燥すれば水シミは発生しません。

注7) グレー色以外のカラークリヤーは施工方法に限らず、色差が発生しやすいので十分注意して下さい。

注8) 上塗 艶の種類

	艶有り	7分艶	5分艶	3分艶	艶消し
ボンフロン水性SRラストコートⅡ	○	×	○	×	○

※ 艶有り以外をローラー施工する場合は、光沢ムラが生じる為、避けてください。

※ 艶有り以外をエアレス施工する場合は、一度の所要量を超えると、指定した艶に仕上がらない可能性がありますので所要量を遵守して下さい。

**※ 特記 本仕様書と共に下記留意点を必ずご確認ください。
塗装工事における留意点<<水性塗料>>**